

各 位

2024年6月20日  
株式会社リットーミュージック

“世界を巡る100台”を、読んで／観て／聴く  
珠玉のタンバリン／フレームドラム図鑑が誕生！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『世界を巡るタンバリン 100～The Tambourine Book～』を、2024年6月20日に発売します。

■書誌情報

書名：世界を巡るタンバリン 100～The Tambourine Book～

著者：田島 隆

定価：3,300円（本体3,000円＋税10%）

発売：2024年6月20日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3124339001/>

タンバリン——学校で、カラオケで、誰もが一度は振って／叩いたことがある、とてもキャッチーな楽器ではないでしょうか。もともとタンバリンは、フレームドラムという太鼓に属しており、そのフレームドラムの誕生は紀元前にまで遡ります。諸説ありますが、はじめは宗教の儀式や五穀豊穡を祈るために使う大切な道具として使われ、それがやがて中東のベリーダンスのバック、ヨーロッパやアジアの民族舞踊などで用いられ、フレームドラム／タンバリンは世界各地で多様な変化を遂げて、美しく、魅惑の音色を持った親しみのある楽器となって人々の間に浸透していきます。もちろん今なお、宗教の儀式で使われるフレームドラムもあります。そんな世界各国のフレームドラム／タンバリン 100 台を 1 冊の本にまとめ、演奏法や音色がわかる動画も連動させて紹介していくのが「世界を巡るタンバリン 100～The Tambourine Book～」です。著者は“タンバリン博士”と呼ばれるフレームドラムの演奏家＝田島 隆。巻末には巻を賑わしているガチタンバリン奏者大石竜輔との対談も掲載しております。

## CONTENTS

- Chapter 1. Africa アフリカ編
  - Chapter 2. Europe ヨーロッパ編
  - Chapter 3. Eastern Europe + Middle East 東ヨーロッパ + 中東編
  - Chapter 4. Asia アジア編
  - Chapter 5. Siberia + North America シベリア + 北アメリカ編
  - Chapter 6. America アメリカ編
  - Chapter 7. Modern Tambourine モダン・タンバリン編
  - Special Talk Session 巻末特別収録 "The Tambourine Book 対談"
- タンバリン博士田島 隆 × ガチタンバリン奏者大石竜輔



THE TAMBOURINE BOOK / CHAPTER 1 / AFRICA / 001

# Ravanne

レバーネ

**REGION** Mauritius  
モーリシャス共和国。インド洋の小さな島国。マダガスカル、マダガスカル島の東に位置する。その自然の美しさが「インド洋の真珠」とも呼ばれる。

**DATA** **サイズ** 直径45cm  
**ヘッド** 山羊皮  
**奏法** 太鼓の上に置き、反対の手で“白い手”を入れながら利き手で打つ。





“お祭りや酒場など、賑やかなところで使われている。”

**COMMENT**  
これはモーリシャスという島のフレームドラムですね。レバーネに関しては不明な情報が多く、あまり知らないのですが、お祭りや酒場だったり、賑やかなところで使われているようです。私はSNSを見て手に入れました(笑)。こういう時代ですからフレームドラム奏者のネットワークがあって、いろいろ繋がっているんです。世界的フレームドラムも昔に比べたらだいぶ入手しやすくなりました。

**Close up!**  
▲直径45cmのフレームにはお祭りのシンバルが1輪縁飾られています。音を出す際にもそれなりに大きい。

THE TAMBOURINE BOOK / CHAPTER 2 / EUROPE / 019

# Pandereta

パンデレッタ

**REGION** Spain / Cantabria  
スペインのカンタブリア州。島の北側にありピレネー山脈に囲まれた自治体で、海と山に囲まれた自然豊かな美しい自然。旧石器時代のカルトラ洞窟がある。

**DATA** **サイズ** 直径約30cm  
**ヘッド** 山羊皮  
**奏法** 利き手と反対の手で本体を持ち、利き手の指や手のひらで打面を打つ。





“指で擦るように演奏するタンバリン。”

**COMMENT**  
名前は1つ前のアストurias州のパンデレッタと同じですが、こちらはカンタブリア州という、アストurias州の東りにある地域のタンバリンです。これはジグザクの付き方もアストurias州のパンデレッタとは違って、リズムもは同じなんですけど、奏法がまた微妙に違って(笑)。指で打つ鳴らしながら、掌のなごりも多量なんです。これがまた小鼓っぽくてカッコ良いんですよ。

**Close up!**  
▲少し大きめのジグザクが印象的なスペイン・カンタブリア州のパンデレッタ。3列の指輪は縁飾られており、ゴールドのジグザクがいかにも鳴りそうである。

## PROFILE

田島 隆 (たじま・たかし)

世界でもめずらしいタンバリン専門の演奏家。世界各国のタンバリンやフレームドラムを演奏できる日本で唯一の演奏家とも言われており、ドラム・セットの音やあらゆるパーカッションの音、さらには音階やメロディ演奏が可能なオリジナル・タンバリンを演奏し、世界から脚光を浴びる。オリジナル・タンバリンと世界のフレームドラムで、ソロ公演をはじめ、画家や舞踊家とのコラボレーション、ジャズ、バロック音楽、ロック、クラシック音楽、タンゴ、ヨーロッパのフォー

ク・ミュージック、日本の古典音楽など、さまざまなアーティストとも共演。世界中のフレームドラムが学べる教室も主宰している。巷では"タンバリン博士"と呼ばれている。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)